

# エネルギー業界における デジタルトランスフォーメーション支援



業界変化に対応した、事業構想→機能内外製(パートナー)→実証→事業化までのリードタイム短縮が求められる。

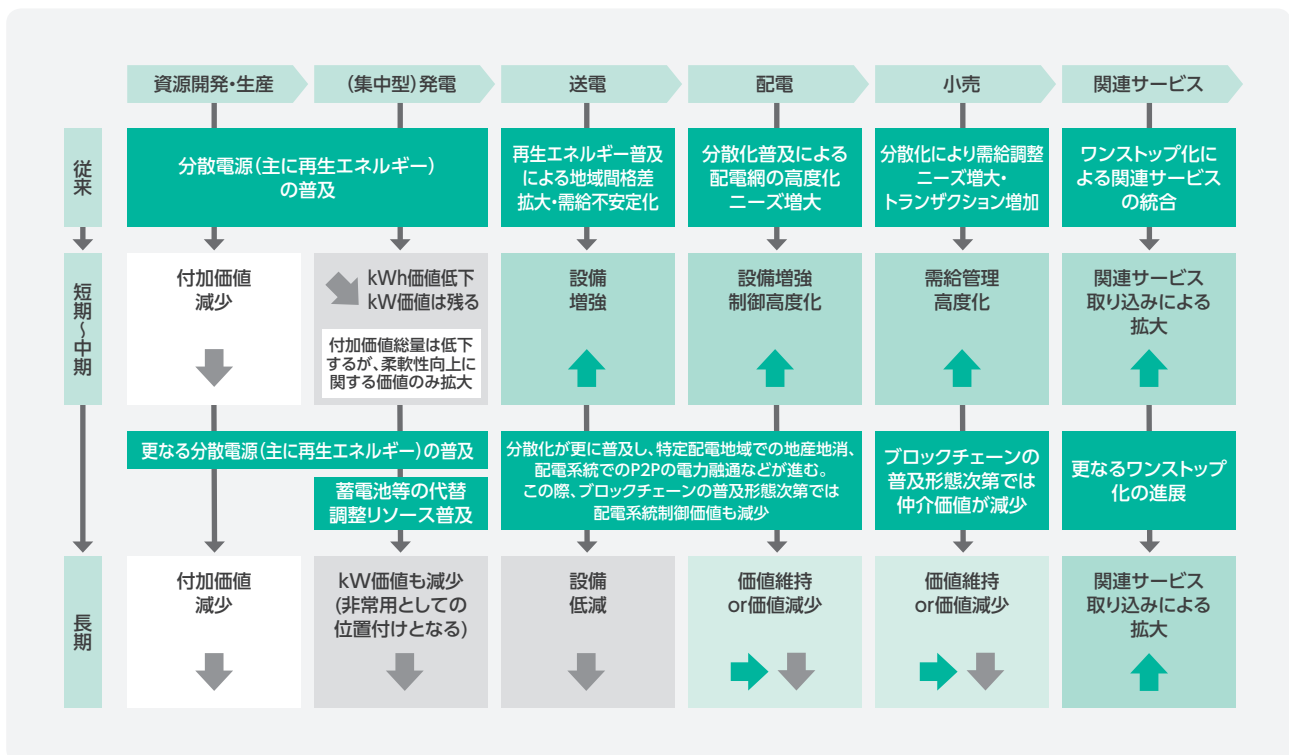
## 破壊的革新が顕在化する エネルギー業界

2011年の東日本大震災以降、日本のエネルギーシステムは、大きく変化しました。  
発電事業領域では、原子力発電所が停止し、再生可能エネルギーを拡大するために固定買取制度が導入されました。その結果、国内外の事業者が、日本国内での再生可能エネルギー発電事業に参入しています。また、エネルギーの小売事業領域では、電力およびガス小売事業が全面自由化され、ここでも新規参入者が増加しました。  
一方で国外に目を向けると、欧米諸国を中心に再生可能エネルギーの増加に伴い、分散電源を中心としたエネルギーの供給体制が急速に進展しています。

## 市場が変化する中での 新たな事業機会獲得

エネルギー業界では、2つの潮流が生じています。  
一つ目は、「エネルギーシステムの分散化」です。需要家が自ら発電設備を保有し、需要家同士で電気の売り買いを実施する、いわゆるP2P(Peer to Peer)の電力取引にもつながっていく動きが挙げられます。二つ目の「エネルギーサービスのワンストップ化」は、その進展に伴い、従来のエネルギー供給事業者に限らない多様なプレーヤーが価値提供を行う機会を獲得することになります。  
この「エネルギーシステムの分散化」と「エネルギーサービスのワンストップ化」という二つの変化により、新たな事業機会が生まれ、これに対応することが求められています。

## エネルギー業界を巡る事業環境変化



# NRIは、中期的な市場変化を見据えた上で事業開発プロセスを一貫してご支援します。

## コンサルティング&ITソリューションで 構想から実行まで一貫した支援

NRIでは、これまで培ってきた業界知見を活かしつつ、今後事業機会が顕在化するテーマに関する、市場見通しと事業化への課題を踏まえた事業構想立案を支援いたします。また、事業化に必要な関連技術を保有する国内外のプレーヤーともネットワークを保有しており、自社に足りない機能を補完するマッチングや、提携交渉支援および出資支援を行います。

NRIは、コンサルティングとシステムソリューション部隊が一枚岩となった体制で事業性評価のための実証試験(PoC)支援も実施しています。具体的には、実証試験の詳細計画立案、政府資金の獲得等プロジェクト・マネジメント業務(PMO)の実績を数多く有しています。また、必要に応じて簡易システム構築やビッグデータ分析などもNRIが主体的となって支援しています。

## ケース：分散電源領域における事業構想 から海外ベンチャー企業への出資支援

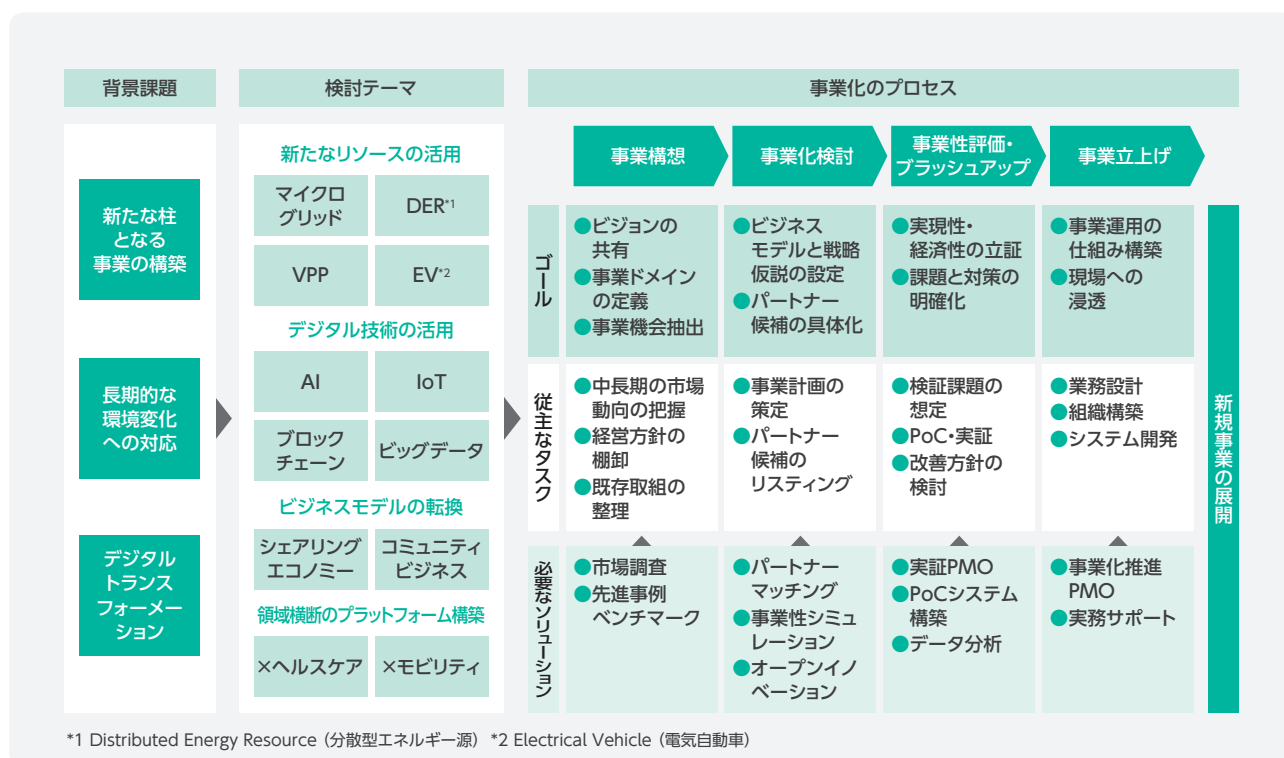
NRIは、大手エネルギー企業A社に対して、今後拡大する分散電源領域における事業構想立案から海外ベンチャー企業への出資支援までをシームレスに支援しました。

NRIは、グローバル市場調査を通じて今後の分散電源領域での事業機会を明らかにした上で海外のパートナーとの協業による事業推進を提案しました。パートナー選定では、NRIの持つ200社以上のエネルギー関連のベンチャー企業DBの中から最適な企業を選定し、その内の一社に対して企業評価(デューデリジェンス)を行いました。結果としてA社は、当該企業への出資を決定しました。

また、別の大手エネルギー企業B社に対しては、国内のVPP\*事業に関する将来の事業構想から実証試験の計画、実際の実証試験を運営するPMOを担当しました。

\*Virtual Power Plant (仮想発電所)

## ■ エネルギー業界におけるデジタルトランスフォーメーション支援



\*1 Distributed Energy Resource (分散型エネルギー源) \*2 Electrical Vehicle (電気自動車)